

アプリケーションカタログ ガソリンの全塩基価

関連業界	:	石油化学
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸塩基滴定
関連規格	:	JIS K2501、ASTM D2896、ISO3771

1. 概要

全塩基価測定（過塩素酸法）は、「JIS K 2501-2003 石油製品及び潤滑油-中和価試験方法」などに基づいて行います。

試料をクロロベンゼン及び酢酸を含む滴定溶剤に溶かし、電位差滴定法により0.1mol/L 過塩素酸酢酸溶液で滴定し、滴定曲線上の変曲点を終点とします。過塩素酸酢酸溶液の終点までの滴定量から、全塩基価を算出します。

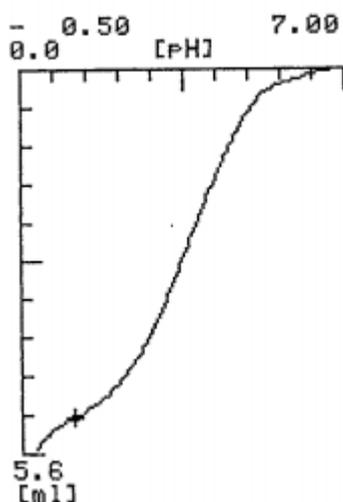
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア: STD）
電極	:	pH ガラス電極 スリーブ型比較電極 温度補償電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 過塩素酸酢酸溶液
滴定溶媒	:	クロロベンゼン+酢酸 (2+1)

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Total base number (mg/g)
1	3.0132	5.1037	9.5021
2	3.0167	5.1071	9.4974
3	3.0170	5.0961	9.4760
Average			9.4918
S.D.			0.0139
R.S.D.			0.1466

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>